技術者制度研究会

大手ゼネコンヒアリング
専任技術者の変更要望

国土交通省の技術者制度研究会（委員長・草柳俊二高知工科大教授）は19日、建設業法に基づく技術者制度の改善方向を検討する一環として大手ゼネコン3社の関係者からヒアリングした。工期が長い工事における専任技術者の変更を柔軟に認めることなどを求める意見があった。

現場の実態を踏まえたうえで技術者制度の問題点を議論することを目指したもの。3月の次回会合では、元請け・下請け両方の立場で施工管理している地方建設業者や、専門工事業者からヒアリングする予定だ。

今回は、大規模工事を念頭に置いた意見が中心のため、技術者の現場専任は安全管理や品質管理の面で技術者が不可欠で、当該技術者だけでなく、本社や支店も技術的にバックアップする体制も有効だとする意見が多かった。外部からの技術者の出向については、測量など補助的なものを除いてほとんど無いという。

問題点としては、長期間の工事の場合、1人の技術者を専任で配置するのは難しいため、区切りのよい時に交代可能とするなど、これまで以上の柔軟な対応を求めている。また、大規模工事の場合、現場所長と現場代理人の下に監理技術者を置くのが通常で、監理技術者を「現場の最高責任者」としている建設業法の位置付けとは実態が異なるとの指摘もあった。ほかに、公共性の高い民間大規模施設工事の際に、く体とテナントの発注者が別々に発注すると、それぞれに技術者の専任が求められることや、建築物完成後も外構などの工事がある場合は技術者の専任が必要なことなどを挙げ、効率化を求めた。

次回のヒアリングでは、4月以降の会合でさまざまな意見を集約し、5月をめどに現行制度の改善方向を示す計画。この際には、①適正・合理的な施工体制や必要な技術者の数と質②現場で技術者が果たすべき役割③技術者の職務と専任制、専任期間④技術者と企業との雇用関係の明確化－などの視点で検討していく考えだ。

国土交通省

初のCD－ROM版
公共事業改革の考え示す

国土交通省は、15日の閣議に国土交通白書を報告した。従来の建設白書と運輸白書を統合した初めてのもので、CD－ROMを本体とした白書としても政府で初の試みとなる。

今回は、国土交通省発足から1年を振り返り、統合の成果を含めた省の役割や全体像を示すとともに、行政組織ごとの縦割りの記述をやめて、政策課題ごとに省としての対応を示している。

国土交通分野をめぐる政策課題への取り組みとしては、都市再生の推進や、広域的・国際的交通ネットワーク構築と観光交流促進、個性ある美しい地域・国土の形成、環境にやさしい社会の実現、安全の確保、少子・高齢化対応、IT革命の推進、産業の再生・活性化といった12の章に分けてそれぞれ解説。

このほか、21世紀型国土交通行政への改革として、公共事業改革や交通政策の転換、行政手続きの改革について、別途詳細に考え方を示している。このうち公共事業改革では、財政状況の悪化や維持更新費用の増大など、新規投資は厳しい状況にあるものの、脆弱な災害対応や環境悪化といった「20世紀の負の遺産」を解消するため、今後も社会資本整備は重要だとした。そこで、限られた資源で最大限の効果が発揮できるよう、社会資本整備を重点・効率化していく方針を示している。

具体的には、資源循環や自然共生型社会の構築、高齢化の対応などを重点化するとともに、新規採択個所についても、案件を精査して重点化。また、PFIなどの民間投資の誘発や、旧省庁の融合・連携事業による統合性の発揮、既存ストックの有効活用、土地収用制度の見直しなどの取り組みも推進する。

13年屋外労働者職種別賃金調査
21職種平均で1万4620円

建設業技能職種の13年屋外労働者職種別賃金調査結果速報によると、1人1日平均決まって支給する現金給与額（賃金）は、技能21職種計で、対前年増減率0・5％増の1万4620円だった。また、年齢間格差は拡大し、技能職種計で賃金の最も高い年齢層は50－54歳層（1万6140円）で、20－24歳層（1万7500円）の1・5倍になっていることもわかった。

13年8月の技能職種別賃金は、技能21職種計で対前年比0・5％増の1万4620円となったが、このうち主要11職種の賃金を見ると、電気工の1万6070円が最も高く、機械運転工1万4820円、大工1万4470円、鉄筋工1万2160円の順だった。前年と比べ、電気工、機械運転工、とび工、貨物自動車運転者、塗装工が増加したのに対し、型枠工、配管工、左官、ビル清掃員、交通誘導警備員は減少した。

他の6職種は下回った。

また、年齢階級別に見ると、技能職種計で最も賃金の高い年齢層は50－54歳層で1万6140円。20－24歳層の賃金1万0750円を「100」とした年齢間格差は、50－54歳層が約1・5倍となった。

全国を13ブロックに分けて地域別に賃金を見ると、技能職種計では南関東が1万6630円、京阪神が1万6430円と高い。次いで北関東1万5010円の順となっており、南九州1万2000円、東北1万2720円、山陰1万3290円、四国1万3700円、北九州1万3810円などで低くなっている。

なお、技能職種計の平均年齢は42・6歳（前年は42・0歳）となっている。年齢階層別の構成は、50－59歳が25・4％、29歳以下が23・7％、40－49歳が22・2％、30－39歳が19・2％、60歳以上が9・5％。

全国マンション新規発売戸数
九州は12・2％の大幅減

不動産経済研究所

不動産経済研究所のまとめによると、13年の全国マンション新規発売戸数は16万8194戸で、前年より7・6％減った。

地域別に見ると、前年実績が高水準だったため、東北が16・6％、北陸・山陰地区が4・4％増加した以外は、すべての地区で減少した。特に、北海道は27・5％、九州が12・2％などで減少幅が大きい。8万9256戸で全体の53・1％を占める首都圏は6・7％減、21・8％を占める近畿圏は7・7％の減だった。

平均分譲価格は、前年比0・03％減の3539万円。最も高い首都圏は4026万円で0・2％減。

14年の発売戸数は、7・8％減の15万5000戸を見込み、大都市圏、地方圏とも都心化、大規模化、超高層化が進むとしている。

加治木BP
4月19日に開通式

国土交通省が整備を進めていた姶良郡加治木町反土から同町木田の延長1・3㌔の一般国道10号加治木バイパスの全線開通に伴い4月19日午後2時から、同町木田で開通式を開く。

あす、波見水門起工式

大隅工事事務所

九州地方整備局大隅工事事務所が整備を進める波見水門建設起工式は、23日午前10時から肝属郡高山町波見の肝付川河口部で開催される。

プレ工場活用セミナー
来月5日、郡山町で

大和木材

大和木材㈱ヤマトプレカット（吉崎和穂社長、本社・日置郡郡山町）は3月5日午後1時30分から、スパランド裸・楽・良（同町交流促進財団）で工務店・販売店を対象にプレカット工場の上手な活用の仕方等をテーマにセミナーを開く。講師は日本住宅・木材技術センター住宅資材利用高度化委員会（氏、七搦親一県森連木材加工部販売促進課長。

セミナーでは、大手ハウスメーカーやFCに負けない住宅づくりのために、講師がプレカット工場活用の仕方や性能表示時代の品質管理、羽柄・合板プレカットの提案、杉中小断面集成材の利用事例などを紹介する。

問い合わせは、同社

《概況》向こう一週間は、九州南部では天気は周期的に変わり、22日と期間の中頃に気圧の谷の影響で雨の降る日がある。

きょうの天気

時間	天気	風	降水確率
朝	雨昼前から曇	南西のち北西	50％
			10％
昼	曇明け方から朝の内雨	南西のち北西	60％
			20％
夜	雨朝晩曇	南西のち北西	70％
			50％
夜遅く	晴所により一時雨	南のち北西	20％
			30％

降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

週間天気予報

日	曜	鹿児島・種子・屋久地方 天気	降水確率	気温	奄美地方 天気	降水確率	気温
23	土	時々	20%	17° 7°		40%	19° 14°
24	日	時々	20%	15° 7°		40%	18° 14°
25	月		40%	16° 6°		40%	18° 13°
26	火	一時	50%	16° 8°	一時	50%	19° 14°
27	水	時々	20%	15° 7°	時々	20%	18° 13°

行政動静

2月22日（金）

【県庁】
- 知事……出張
- 副知事……在庁
- 土木部長……在庁

【鹿児島市】
- 市長……市内
- 木村助役……市内

【鹿児島国道工事事務所】
- 所長……在庁
- 田中副所長……在庁
- 喜多川副所長…在庁

【川内川工事事務所】
- 所長……午前在庁、午後庁外

【大隅工事事務所】
- 所長……庁外

【鹿児島港湾空港工事事務所】
- 所長……在庁

【志布志港湾工事事務所】
- 所長……出張

【日本道路公団鹿児島工事事務所】
- 所長……在庁

※予定が変更になることがありますので、ご了承下さい。